

令和5年度

事業報告書

1.本部関係

(1) 理事会の開催状況

① 令和5年5月29日

～「令和4年度事業報告」、「令和4年度決算」、「役員(理事・監事、評議員(追加)の選任)ほか

② 令和5年6月20日

～「理事長の選定」

③ 令和6年3月12日

～「令和6年度事業計画」、「令和6年度予算」、「令和5年度補正予算」

(2) 監査の実施状況

① R4年度(決算) 監査	R5.05.24
② R5第一・四半期監査	R5.08.18
③ R5第二・四半期監査	R5.11.17
④ R5第三・四半期監査	R6.02.26

(3) 評議員会の開催

① 令和5年6月17日

～「令和4年度決算」(併せて、「令和4年度事業報告」を行った)

② 令和6年3月12日(同日の理事会終了後)

～「令和6年度事業計画」、「令和6年度予算」、「令和5年度補正予算」

2.「児童数」(ほくと保育園入所状況の推移)

(別表1のとおり)

3.職員の状況

(別表2のとおり)

4. 保育所

(1) 主な行事等の実施状況

は、「地域との交流」や「地域社会に貢献する取組み」を示す

は、左以外の団体等との交流事業

月・日	行事（園全体）	その他（歳児別行事）	実施の有無	摘要
R5				
4月 1日	入園式		〔実施〕	新入園児(0歳児ほか):18名 (R4は15名)
<「新型コロナウイルス」が、R5.5.8から感染症法「第5類」に移行(法律上の行動制限なし)>				
5月 (5月～) 6月		(5歳児) 室蘭ろう学校との交流	〔実施〕	R5は3回実施(R5.9月から再開) (従来は、年間8回、相互に訪問・交流)→3回
	お餅つき		〔実施〕	こどもの日に合わせ、毎年5月に実施〔なお、R6.5月に5歳児祖母から「子供用のウス・キネ」が寄贈された(現有のウス(白)が重く負担過多、かつ経年劣化でひび割れがひどい)〕
		(3、4、5歳児) 異年齢による交流	〔実施〕	縦割りで3班に分け、「室蘭水族館」を見学(ペンギンの行進など)
		(5歳児)花植え	〔実施〕	知的障がい者授産施設「あけぼの」の皆さんと、園庭花壇に花・苗を植える。(障がい者理解促進事業の一環) 〔H25から継続実施、R3から指導員のみ〕
		各クラス 「参観・懇談」	〔実施〕	「0歳児」と「1歳児」はビデオによる「生活の様子」と懇談、「2歳児以上」は参観と懇談。 なお、個別の保護者対応(相談、苦情など)は常時行っている。
7月	七夕まつり	園内に笹を飾り、各クラス作品紹介、「パネルシアター/おり紙とひこぼし」を鑑賞	〔実施〕	※従来は、近隣のお年寄り宅・お店(コンビニ)・看護学院に、「七夕飾り(笹飾り)」をお届けしていたが、コロナ以降はこれを止めている。
	ほくと祭り	ホールやエントランスを飾り付け、男女混合の「おみこし」2基で園敷地内を練り歩き、玉入れ、「お店屋さんごっこ(輪投げ、くじ引き、ほか)」	〔実施〕	※従来は、近くの公園までお神輿を担いで練り歩き、地域住民との交流、北海道福祉教育専門学校の学生のお手伝い・交流をしていた。コロナ以降は恒例の「お神輿の練り歩き(近くの公園まで)と踊りの披露は取止めている
		(4、5歳児) ピオトップ・イタンキ	【実施】	自然体験 〔H26から継続実施〕
8月	東翔高校プラスバンド部との交流	東翔高プラスバンドに生演奏してもらい、音楽や本物の楽器に触れる機会をつくる	【実施】	4年ぶりに実施。楽器の紹介と子供達になじみのある曲を演奏してもらい、お返しに子どもたちが「盆踊り「妖怪村の夏祭り」」を披露し、部員と一緒に踊り交流した。
		(4歳、5歳児) 夕涼み会	〔実施〕	<父母の会主催>ホールでゲーム大会など
		(2歳児) バス遠足/室蘭水族館	〔実施〕	
		(4歳児)バス遠足 ～旧・室蘭駅公園	〔実施〕	蒸気機関車を見学、「ぽっぽらん公園」
9月	運動会		〔実施〕	(R2から)感染症対策のため、クラス毎に入替えして、雨天でも実施できる「ホール」で開催
10月		(5歳児) バス遠足	〔実施〕	八丁平南公園
		(3歳児) バス遠足	〔実施〕	中島公園

月・日	行事（園全体）	その他（歳児別行事）	実施の有無	摘要
	『ハロウィン・お楽しみ会』		〔実施〕	仮装パレード（年長クラス）や「お化けごっこ」など
12月	発表会（遊戯、劇、歌など）		〔実施〕	インフルエンザ流行のため、12/9（4歳、5歳）と12/16（0歳～3歳）の2回に分けて実施（対策：同居家族2名まで参観、玄関で検温・手指消毒・マスク、クラス毎に保護者を入替え、など）
		（5歳児）バス遠足～環境科学館	〔実施〕	実体験しながら科学を学ぶ、卒園を控え、友達と共通の経験をして楽しい思い出をつくる
	クリスマス会		〔実施〕	キャンドルサービス（5歳児）、クラス製作の作品紹介、『あわてんぼうのサンタクロース』合唱、サンタさんからプレゼント（サンタは保育士）、踊り『ジングルベル』
R6 1月		（4、5歳児）かるた大会	〔実施〕	取った枚数を書いた「メダル」で表彰
2月	節分（豆まき）		〔実施〕	（従来の「鬼退治」は取止め）豆まき、作品発表、「福の神」によるお菓子配り
3月	ひな祭り会		〔実施〕	エントランスに「お雛様飾り」、ひな祭りの由来や各クラス作品紹介、踊り『アッコりやひなまつり』
	卒園式		〔実施〕	卒園児27名（天神小ほか）（保護者出席2名まで、式次第を簡素化）

※ほかに、毎月の「お誕生会」・「避難訓練」及び「健康診断（年2回）・歯科検診」あり

上記のとおり、児童のみで行うものについては、児童の健康状況を把握しながら、ほぼ例年どおりの内容で実施できたが、引き続き「新型コロナウイルス（R5.5.8から感染症法第5類に）やインフルエンザほかの感染症拡大防止」のため、『保護者や外部の人が園内に長時間滞留』あるいは『子どもたちが外部の人と接触する』行事等の実施に当たっては、今後も基本的な感染防止対策を取り、その時々々の感染状況を的確に把握しながら行いたい。（従来の行事等のうち、「海星学院高校・茶道部との交流」、「老人施設入所者との交流」、「卒園児」との交流など）については、“中止”している）

（2）感染症の状況について

〔R5の感染者数〕

①新型コロナウイルス感染症

: 児童 27人、職員 25人（特に R5.8月「計6人」、R6.1月「計9人」、2月「計23人」）

②インフルエンザ（A、B）

: 児童 108人、職員 20人（特に R5.11月「計41人」、12月「計59人」、R6.3月「計21人」）

〔クラス閉鎖〕

①「R5.12.4～12.5」

～2歳児クラス

インフルエンザによる

②「R5.12.5～12.7」

～3歳児クラス

インフルエンザによる

③「R6.2.21～2.24」

～0歳児クラス

新型コロナウイルスによる

(3) 職員研修の実施状況

①キャリアアップ研修(分野別)～全て園内での「オンライン」による研修となった。

分類 No.	分野別区分	実施月日	研修の名称	主催者等	受講者数
1.	乳児保育	8/19、20	専門分野研修(乳児保育)	※ 道保協(キャリアアップ研修)	4人
2.	食育・アレルギー	9/16、17	専門分野研修(食育・アレルギー)	※ 道保協(キャリアアップ研修)	3
3.	マネジメント	11/3、4	専門分野研修(マネジメント)	※ 道保協(キャリアアップ研修)	4

(R5)受講 3分野

(受講)延べ人数

11人

②感染症対策～コロナ、インフル、ノロなどの「感染症対策(実践講習)」を実施

27人

(予防対策の確認・感染症の種類による消毒液の種類や希釈方法を学習し、看護主任による「嘔吐物処理」・「消毒の実践」など実技講習を行った)

③健康・安全関係～

24人

・「ヒヤリハットの事例による要因と分析」

・「事故発生時の対応」、「水遊び」について

27人

④児童虐待や障がい児関係～

・「児童虐待防止講座」(子育て世代包括支援センター「こころん」前田仁志氏による出前講座)

24人

・「児童虐待防止講演会」(恵愛病院医師による「こころの病を抱える親とその子どもたち」)

1人

・「インクルーシブな保育」について(障がい児、医療的ケア児、外国籍の子など)

23人

・「気になる子どもへの理解」(R5は3回実施)

(R5.5.18)

25人

～2015年(H27)から継続(障がい児のケース研究など)

(R5.8.10)

23人

:「札幌大学教授 小島義勝先生(元室蘭養護学校校長ほか)」

(R6.1.26)

26人

⑤「各クラス研修」

(歳児別の各クラスで、年間のテーマを決め通年で行う)

～「0歳児の発達」「環境づくり」、1歳児「乳幼児に関わる事件事例」、2歳児「わらべうた」、3歳児「体幹遊び」、4歳児「保育者と子ども・保護者の関わり」、5歳児「幼児の生活と遊び」など)

(4)施設整備等の状況(「ほくと保育園」工事費・修繕費及び備品購入費)

(単位:千円)

(1)施設整備費及び修繕費

	R5決算額	左の内訳	R4決算額
(事務費)修繕料	1,746	～砂場改修608千円、 ボイラー室循環ポンプ取替え(直暖)165千円、 LED電球取替え(3歳児室25個)457千円、 食器洗浄機モーター取替え220千円、 その他296千円(床暖ビット内水漏れ、網戸張 替え、乾燥室制御盤修理、調理室蛇口ハンド ル取替えなど)	310
(施設整備費等支出のうち) 固定資産取得支出(備品)	770	～監視カメラ装置一式更新(カメラ3台、デジタ ルレコーダー、なお既設モニターは再使用) コロナ交付金のうち「施設老朽化対策改 修整備」対象の562千円を上記に充当	2,021 (R4は非接触型 蛇口設置1,821 千円:コロナ交付 金1,623千円充 当)ほか

(2)備品等購入

	R5決算額	左の内訳	R4決算額
(事業費)消耗器具備品費 のうち備品	1,050	～カーペット取替え(0歳～5歳児室用ジョイント マット)359千円、 運動用マット取替え117千円、 アルミ避難車カバーマット取替え134千円、 「鯉のぼり」更新69千円 「子どもと木のふれあい推進事業」371千円は 「かばん掛け(5台)」ほか(全額補助)	1,299 うち「木のふれあ い推進事業」498 千円:全額補助

(5)保育実習等「研修の受入れ状況」

(単位:人)

区分	学校等の名称(依頼先)	R5受入数(人)	特記事項
保育実習	1. 北海道福祉教育専門学校(2年)	2	(20日)
	北海道福祉教育専門学校(1年)	29	(1日のみ)
	2. 他市の短大等		
	名寄市立大学	1	(12日)
	経専北海道保育専門学校	1	(10日)
	函館大谷短大	1	(10日)
	3. 室蘭市立看護学院	3	(3日)
インターンシップ等	(高校)		
	1.海星学院高校		
	2.室蘭東翔高校	3	(2日)
	" (家庭科学習)	16	(1日のみ)
	3.室蘭工業高校		
	4.登別青嶺高校	3	(2日)
	(中学校)		
合計		59	

※R4は「5校:47人」

(6)事故等の発生状況

■「北海道(胆振総合振興局)報告分」及び「室蘭市報告分」 ~ 1件

No.	①事故発生日	②年齢(性別)	③傷病名	④原因(事故発生状況)
	R6. 3. 28(木)	2歳児(女)	脳震とう	園外活動で保育園近隣での公園で遊んでいる最中に(午前10:20頃)、滑り台の階段2段目から転落(高さ約80cmあり、後ろ向きに転落)。
1	⑤保護者等への対応/医療機関の診断・治療		⑥再発防止に向けた検討結果及び事後処理	
	(1)転落後1分ほど意識がもうろう状態。呼びかけを続けると、目が開き一瞬泣いたがすぐに泣き止んだ。 (2)この間に保育園に連絡・状況を説明(意識があり、会話できる)。すぐに園長と看護主任が駆け付けるが、顔色不調で傾眠傾向が見られたことから、10:30に「救急車」の出動を要請(→10:45到着)、「保護者」に連絡(→10:40到着)。 (3)11:15に市立室蘭総合病院でCT検査。医師から『脳震盪を起こしたと思われる』との診断。本児童は顔色が戻り、会話が出来ていた。 (4)保護者(母)によると、靴が新しく、当日の登園前にも転倒した。病院から帰宅後は普段どおり元気になっていたとのこと。 (5)保護者には、保育園側の注意不足について改めて謝罪した。		◆事故防止のため、「園外活動保育」について職員会議で協議した(事故防止意識の再確認と危機管理意識の向上。なお、児童にも定期的な注意喚起が必要)。 ①園外活動を行う場合は(特に今回のような季節の変わり目)、事前に下見し、危険箇所や危険可能性ある箇所や遊具についてチェックしておく。 ②外遊びでは、子どもの動きを予測し、事故や怪我が発生しないよう対策を立てておく。 ③子どもの見守りは、職員間で連携を取る、声掛けをし合う。 ④緊急時の迅速な対応などについての研修回数を増やす。	

(7)苦情処理等 ~ なし